

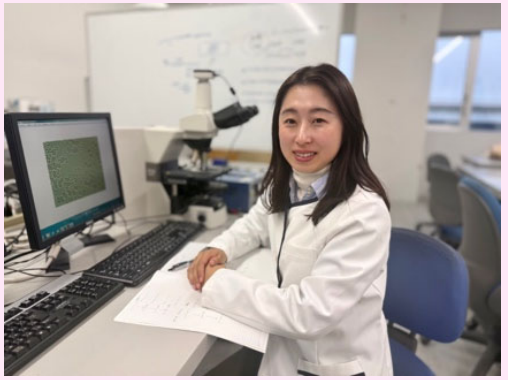
ご支援を賜りました
寄付企業法人や寄付者の皆様へ

2025年度（第8回）女性研究者奨励金
受賞者から御礼の言葉

日本私立学校振興・共済事業団

カネマキ　ミキ
印牧　美紀

北海道科学大学 保健医療学部 臨床工学科　助教



〔研究課題〕

極低周波電界曝露による体内赤血球運動の変化

寄付者の皆様へ〔御礼〕

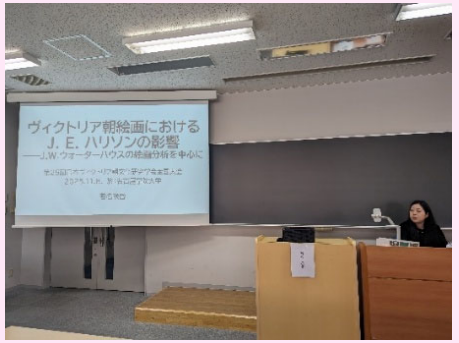
この度は、若手・女性研究者奨励金によるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本奨励金のおかげで、研究成果を国際会議で発表するための旅費や、研究に必要な機器・物品の購入が可能となり、研究を大きく前進させることができました。

本研究は、日常生活で避けることのできない極低周波電界が人体内の血液に与える影響を解明するという、人々の安全と健康に直結するテーマに取り組んでいます。今回、非接触の電界曝露が生体内の赤血球運動に影響を及ぼすことを世界で初めて実証できたことは、将来的な安全基準の国際的統一や、電界を活用した新たな医療技術の開発につながる可能性を秘めています。

今後も皆様のご支援を励みに、社会に貢献できる研究成果を生み出せるよう、研究に邁進してまいります。引き続きのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ワカナ　サヤカ
若名　咲香

盛岡大学 文学部 英語文化学科　助教



〔研究課題〕

イギリス絵画におけるジェイン・エレン・ハリソンの影響の研究
－ジョン・ウィリアム・ウォーターハウスの絵画作品を中心に－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本研究を採用して頂き、深謝申し上げます。本奨励金によって、勤務校では困難であった一次資料の調査、高額な研究文献の入手、遠方での学会発表等が可能となりました。研究者を取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、私のように、本奨励金によって活力を得られる研究者が少なからずいることでしょう。ぜひ今後とも本奨励金の継続的な運用と、若手・女性研究者へのご理解・ご支援を頂けますよう、何卒よろしくお願いいたします。

チョウ　コウ
張　紅

東北公益文科大学 公益学部　助教



〔研究課題〕

地域資源としての古民家の再生に影響を及ぼす要素の考察
－山形県庄内地域を対象として－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、研究助成という形で温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

数多くの優れた研究テーマがある中で、本研究を採択していただいたことは、私にとって大きな励みとなりました。研究者としての道を歩み続ける自信を与えていただき、深く感謝しております。

本研究では、庄内地域における古民家活用の実態について調査を行いました。調査を通じて、私は庄内地域に対する新たな認識を得ることができました。庄内には歴史的建築物が集中的に保存されている地区は多くありませんが、その一方で、古民家や地域の歴史的景観を大切にし、その価値を次世代へ伝えようと努力している方々が数多く存在します。そうした方々の活動や熱意は、研究者だけでなく、地域住民や観光客を含めた多くの人々に知っていただく価値のあるものだと感じています。また、本研究を通じて、多くの方々との出会いに恵まれ、地域に根ざした実践や思いに直接触れることができました。これは研究成果だけでなく、私自身の成長にとっても大変貴重な経験となりました。

現地調査は一区切りを迎えましたが、今後は研究成果を学会において発表するとともに、地理学分野の学術雑誌への投稿を目指しております。今回得られた知見を広く社会へ発信し、歴史的建築物の保存と活用に関する理解の深化に少しでも貢献できるよう、引き続き研究に取り組んでまいります。

最後になりますが、本研究を支えてくださった寄付者の皆様に改めて心より感謝申し上げます。皆様からいただいたご支援を糧に、今後も研究活動に真摯に取り組んでまいります。

マツモト　チアキ
松本　千晶

国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科　助教



〔研究課題〕

スポーツ選手の非侵襲的コンディショニング評価指標の開発

－疲労とリカバリーの可視化による競技力向上－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、若手・女性研究者奨励金という貴重な機会をご支援いただき、心より感謝申し上げます。本奨励金のおかげで、研究成果の論文化や学会発表を進めることができ、さらにスポーツ選手の測定に必要な機器を整備することができました。

研究活動を通じて、スポーツ現場で抱える課題を科学的に解決することの重要性を改めて実感するとともに、研究成果を社会へ発信する経験を積むことができました。今回得られた成果は、スポーツ選手の競技力向上や障害予防に貢献するだけでなく、成長期アスリートや女性アスリートの健康支援にもつながる可能性があります。

今後も研究とスポーツ現場をつなぐ活動を継続し、科学的根拠に基づいたコンディショニング支援の発展に取り組んでまいります。皆様からいただいたご支援を社会へ還元できるよう、引き続き研究活動に邁進してまいります。誠にありがとうございました。

オオニシ　ミキ
大西　未希

駿河台大学 情報処理教育センター　助教



〔研究課題〕

情報教育に特化したスチューデント・アシスタント業務の研究
－文系学部におけるデータサイエンス科目必修化をふまえて－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、若手・女性研究者奨励金にご採択いただき、誠にありがとうございました。本研究は、パソコンに苦手意識のある学生さんも多い文系学部で情報処理演習科目を担当する中で抱いた「一人ひとりの習熟度に向き合い、質の高い授業を実現したい」という思いから、新たにスタートさせた、情報処理教育に特化したSAとの授業づくりに関する研究です。

これからの可能性を読み取って採択いただけたことが、今後の研究推進の大きな励みとなりました。本奨励金のおかげで、SAの業務報告やインタビューといったデータを一年かけて着実に収集することができ、現場の実践知を言葉にして共有できる形に整理する手法を新たに身につけることができました。

今後は収集したデータの分析をさらに進め、情報教育に特化したSA育成マニュアルとして整備していく予定です。本学にとどまらず、同じ課題を抱える他大学の授業づくりにも役立てられるよう内容を整え、広く発信していきたいと考えております。頂きました奨励金を有効に活用し、より一層研究に精進するとともに、誠実に学術的・社会的貢献を目指してまいります。今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ゴトウ　チヒロ
後藤　千宏

学習院大学 文学部 英語英米文化学科　助教



〔研究課題〕

ヴィクトリア朝小説におけるディサビリティとセンセーション
－センセーション・フィクション再考－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

女性研究者奨励金に採択していただき誠にありがとうございました。奨励金をいただきましたおかげで、イギリスへ現地調査に行くことができました。イギリスでは、19世紀に出版された小説の原本を確認し、作家の故郷を訪ねました。本研究のために大変有意義な調査になったことは言うまでもなく、文学が現代の人びとにどのように受容され楽しまれているのかということについても理解することができ、文学研究の原点に立ち返ることができました。日本私立学校振興・共済事業団の皆様、ご寄付を賜りました皆様、この度はご支援くださり誠にありがとうございました。文学研究を通して社会へと貢献できるよう、これからも精進してまいります。

コ　ケツ
胡　杰

国士舘大学 政経学部　講師



〔研究課題〕

自然言語における量化の共通性

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、女性研究者奨励金にご採択いただき、誠にありがとうございました。

助成を受けたという実績は、私自身の研究が一定の評価をいただいた証であり、大きな自信につながるとともに、研究への意欲をさらに高める契機となりました。また、ご支援のおかげで研究環境を整えることができ、本研究については学会発表（下の２枚の写真は東アジア言語文化学会第9回大会において研究発表を行った際の様子です）を2回行うとともに、論文1本を公表することができました。今後も本助成への感謝の気持ちを忘れず、研究活動に一層精進してまいりたいと思います。

末筆ながら、今後も全国で研究に励む若手・女性研究者へのご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ウサミ　ナツミ
宇佐美　夏実

昭和医科大学 薬学部　助教



〔研究課題〕

向精神薬過量乱用時の薬物動態および中毒症状との関連性の検討

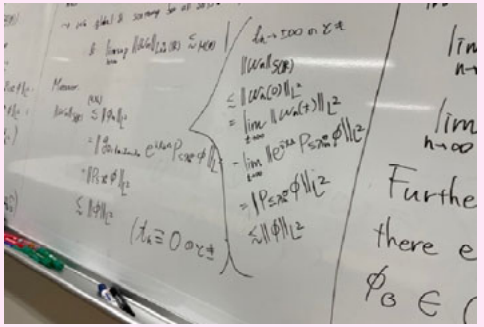
寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、本研究に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本助成により、薬物動態解析に必要な実験環境を整備し、向精神薬中毒時の薬物相互作用に関する基礎的な知見を得ることができました。

急性薬物中毒は重要な社会的課題であり、その発症機序には未解明な点が多く残されています。本研究で得られた成果が、薬物中毒研究のさらなる発展や、急性薬物中毒患者に対する適切な治療戦略の構築に役立つことを願っています。改めまして、ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

ワタナベ　ミナミ
渡邉　南

津田塾大学 学芸学部 数学科　助教



〔研究課題〕

特別な非線形項のシュレディンガー方程式の解の大域挙動について

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは2025年度女性研究者奨励金にご採択いただき、心より感謝申し上げます。本奨励金を活用して必要な物品を購入し、研究を進めることができました。また、本奨励金によるご支援をいただいたことで、他の学校へ助教として採用していただき、そこで引き続き研究を継続する機会を得ました。今後も本研究を着実に推進し、その成果を国内外の学会発表や論文執筆を通じて広く発信し、社会への貢献に努めてまいります。

ヤマウチ　エミリ

山内　絵美理

東海大学 農学部　助教



〔研究課題〕

大学の教員養成における学習の在り方の検討

－教員養成段階および現職段階の学習の異同に着目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

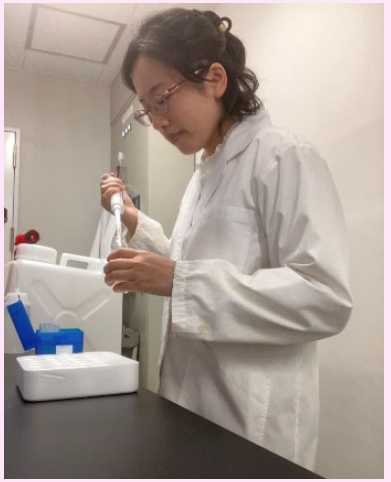
女性研究者奨励金によるご支援を受けながら研究を継続できたことは、私にとって大きな励みとなりました。心より感謝申し上げます。本研究は、教員養成の現場における学生の学習の場を対象としたフィールドワークを中心とするものであり、継続的な調査や分析を必要とします。皆様からのご支援により、研究活動を着実に進めることができました。

また、研究と教育業務、そして育児を両立しながら研究を続けるなかで、本奨励金は経済的な支援にとどまらず、自身の研究に価値を見出していただいたことを実感できる、大きな励みとなりました。

今後も、教員養成や教師教育に関する研究を通して、教育現場や社会に還元できる知見を積み重ねていきたいと考えております。改めまして、ご支援いただいた企業・団体の皆様、ならびに関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

クロカワ　ミナミ
黒川　南

東京理科大学 理学部第一部 応用化学科　嘱託助教



〔研究課題〕

U2AF65 タンパク質を活用した人工的遺伝子発現制御法の開発
－3本鎖核酸との複合体の立体構造・結合システムの解明－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究は、遺伝子発現制御という生命現象の根幹に関わる分子機構の解明を目指すものです。初年度は基盤構築段階でしたが、今後の研究発展に不可欠な準備を着実に進めることができました。本研究を支援してくださった皆様、特に実験を行うにあたり協力して頂いた、東京理科大学理学部応用化学科鳥越研究室の大学院生の方々に心より感謝申し上げます。

ヤマザキ　アキコ
山崎　明子

日本医科大学 医学部　助教



〔研究課題〕

認知症診断直後における介護者を対象とした電話を活用した支援

寄付者の皆様へ〔御礼〕

日本は世界と同様に高齢化が進んでおり、高齢化とともに有病率が上がる認知症は喫緊の社会的課題です。診断後の支援の必要性はかねてより指摘されてきましたが、本研究において、診断後支援における電話相談の有用性を国内外に発信することができました。今回の奨励金をいただいたことで、研究活動に迷いなく進むことができ、大変感謝しています。今後も認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせる社会の実現に向けて研究を続けたいと思っています。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

クボタ　マリ

久保田　茉莉



日本体育大学 体育学部 体育学科　助教

〔研究課題〕

人間の尊厳とジェンダー平等に着眼した新たな性売買規制の探究

－フランス買春禁止法に基づく立法論的検討－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、私の研究にご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。本奨励金により、これまでの研究を発展させることができました。性売買は、女性の品行の問題と見られがちですが、その背後には、女性の貧困や男女格差があります。畢竟、これは女性の問題ではなく、女性を脆弱な地位に置き無力化するミソジニー社会の問題、そして、女性を商品と見做して憚らない男性（買春者）の問題なのです。こうした問題を解決し、女性が尊厳をもって暮らせる社会の実現に貢献できるよう、今後ますます邁進してまいります。

ムン　キルヨン

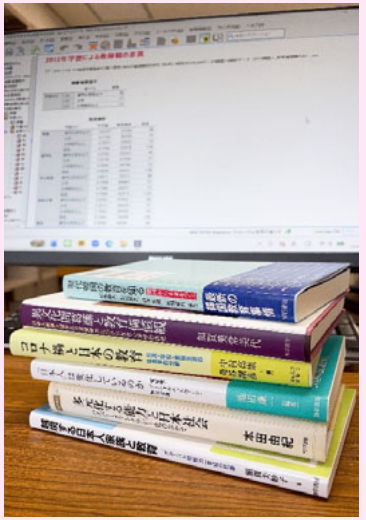
文　吉英

明治学院大学 教養教育センター　助教

〔研究課題〕

母親の教育に関わる価値観の異文化間比較

－日本と韓国との違い－

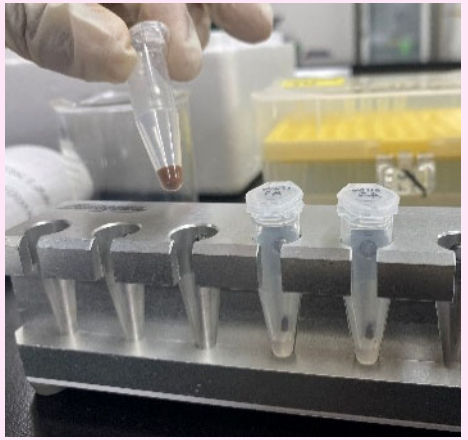


寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は貴重なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様のおかげで、多大な労力を要する日韓の質問紙調査とデータ分析を無事に遂行することができました。 本研究で明らかになった「教育が生存のための安全網へ変質している」という事実は、少子化や格差に直面する日本社会にとっても重要な示唆を含んでいます。今後は分析成果を順次論文として発表し、より良い子育て支援や教育政策を構想するための基礎資料として社会に還元してまいります。　皆様の温かいご支援に深く感謝し、今後も社会に貢献する研究に邁進いたします。

オカダ　マイコ
岡田　麻衣子

東京工科大学 応用生物学部　講師



〔研究課題〕

ユビキチンアプタマーの特性評価

－多様なユビキチン修飾機能の解明に向けて－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究課題に女性研究者奨励金を授与いただき、誠にありがとうございました。皆様からのご支援により、ユビキチンアプタマーという新しい分子ツールの性質を詳しく調べることができました。特に、ユビキチンを認識する際にアプタマー自身の形が変化する可能性を見出し、今後の研究を発展させるための重要な手がかりを得ることができました。

ユビキチンは、細胞の中で不要になったタンパク質や異常なタンパク質に付けられる「目印」のような分子です。この目印が正しく働かないと、細胞の中に異常なタンパク質がたまり、神経変性疾患などの病気に関わることがあります。本研究で得られた成果は、このような細胞内の異常をより詳しく調べるための新しい検出技術につながる可能性があります。

今回のご支援は、研究を進めるための大きな後押しとなっただけでなく、研究者として新しい研究の方向性を切り拓く貴重な機会となりました。本奨励金を通じて得られた成果を基盤に、今後は多様なユビキチン修飾を見分ける技術や、疾患に関わる分子を簡便に検出する技術の開発へと研究を発展させていきたいと考えています。

基礎研究の成果は、すぐに社会で使える技術になるとは限りません。しかし、小さな分子の働きを正しく理解することは、将来の診断法や治療法、創薬研究を支える重要な土台になります。皆様からのご支援を、社会に役立つ科学技術へとつなげられるよう、今後も研究に真摯に取り組んでまいります。また、研究成果を社会にわかりやすく伝えるとともに、次世代の学生や若手研究者の育成にも力を注ぎ、科学の発展に貢献してまいります。

ヤマモト　マリヤ
山本　麻里耶

川村学園女子大学 文学部 国際英語学科　講師



〔研究課題〕

英語圏児童文学に登場するドラゴン像の変化について

－イギリスで出版された1870年代～1970年代の本を中心に－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

英語の古本（文献）調査を行う際には、まず日本および海外の大学図書館や公共図書館、インターネット上で無料公開されているサイトを確認し、所蔵の有無を調査します。本研究においても、多くの大学図書館や公共図書館、オンライン資料にお世話になり、複写や貸出サービスを活用してきました。

しかし、図書館の蔵書には限りがあるため、必要な資料を十分に収集するには、古書の購入が不可欠となります。特に古い時代の海外文学を調査する場合、作品の存在を確認できても、その内容を実際に読むまでは研究対象として適切かどうかを判断することができないため、現物の入手が必要になります。

本研究のように作品の変遷を追うためには、多数の文献を収集する必要があり、相応の費用を要します。海外の古書は、購入の機会を逃すと再入手が困難な場合も多く、また希少性や世界情勢の影響により、価格や輸送費が大きく変動することもあります。このたびご支援を賜ったことで、複数の貴重な資料を確保することができ、当初計画していた調査を着実に進めることができました。心より感謝申し上げます。

ドラゴンは現代人にとっても比較的身近な存在ですが、英語圏の児童文学に登場するドラゴンについては、これまで絵本と児童読み物との違いが十分に区別されないまま研究されてきたため、その特徴や役割は十分に整理されていませんでした。本研究はその一端ではありますが、ドラゴンの描かれ方を整理し、理解を深めることができたと考えています。

本成果はまだ小さな一歩にすぎませんが、今後も研究を継続し、より多くの方に関心を持っていただけるよう、知識と情報の発信に努めてまいります。

ユアサ　ユキコ
湯浅　有希子

帝京平成大学 ヒューマンケア学部 柔道整復学科　講師



〔研究課題〕

3D プリンターを活用した医療用固定具作成の実技授業への導入

－柔道整復教育における模擬授業による検証－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究への温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本奨励金により、熟達者の固定具作成技術をデジタルデータとして保存し、教育現場で活用するための試作や模擬授業を実施することができました。特に、3Dプリンターやフィラメントなどの設備・材料の整備は、研究を進める上で不可欠であり、皆様からのご支援があって初めて実現できたものです。

柔道整復師の技術は、人の手によって受け継がれてきた貴重な知の体系です。本研究を通じて、その技術を次世代へ確実に伝えるための新たな方法を模索する機会を得ることができました。また、デジタル技術を活用した技術保存は、教育的価値に加えて、将来的には柔道整復の歴史研究における新たな史・資料としての役割を果たす可能性もあり、研究者として大きな励みとなりました。

今後も、柔道整復分野の発展と地域医療への貢献を目指し、研究と教育の両面から取り組みを続けてまいります。改めて、本研究にご支援いただきました寄付者の皆様、日本私立学校振興・共済事業団の皆様に深く感謝申し上げます。

タカハシ　マナミ
高橋　愛美

帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科　助教



〔研究課題〕

産後期の夫婦のパートナーシップ向上のためのプログラム開発

寄付者の皆様へ〔御礼〕

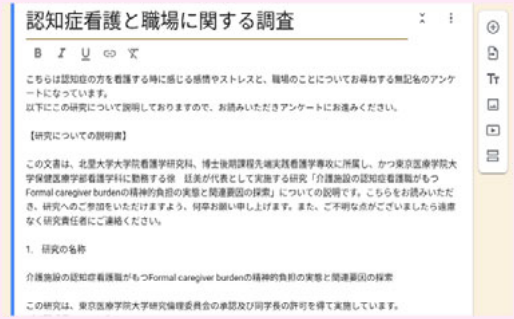
この度は、研究助成金により産後夫婦クラスの実施と研究を進めることができました。本助成がなければ、研究計画に沿ったクラスの開催や研究の遂行は難しかったと感じております。ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。また、本研究に関心を持ち、妊娠中より研究にご協力くださったご夫婦の皆様にも深く感謝申し上げます。

本研究では、多くのご夫婦と出会う中で、産後期の夫婦や家族への支援に求められている率直な思いや現場の課題に触れることができました。また、研究を通して多くの知見を得ることができ、改めて現場における継続的な支援の重要性を実感いたしました。皆様からのご支援によって、研究活動だけでなく、実際に夫婦や家族を支える取り組みにもつなげることができました。

今後も研究成果を学会発表などを通して社会へ還元しながら、産後期の夫婦や家族が安心して子育てできる社会づくりに貢献できるよう、研究を継続してまいりたいと考えております。

セオ　ジョンミ
徐　廷美

東京医療学院大学 保健医療学部 看護学科　助教


認知症看護と職場に関する調査

こちらは認知症の方を看護する時に感じる感情やストレスと、職場のことについてお尋ねする無記名のアンケートになっています。
以下にこの研究について説明しておりますので、お読みいただきアンケートにお進みください。

【研究についての説明書】

この文書は、北里大学大学院看護学研究科、博士後期課程先端実践看護学専攻に所属し、かつ東京医療学院大学保健医療学部看護学科に勤務する徐　廷美が代表として実施する研究「介護施設の認知症看護職がもつFormal caregiver burdenの精神的負担の実態と関連要因の探索」についての説明です。こちらをお読みいただき、研究へのご参加をいただけますよう、何卒お願い申し上げます。また、ご不明な点がございましたら遠慮なく研究責任者にご連絡ください。

1. 研究の名称

介護施設の認知症看護職がもつFormal caregiver burdenの精神的負担の実態と関連要因の探索

この研究は、東京医療学院大学研究倫理委員会の承認及び同学長の許可を得て実施しています。

〔研究課題〕

認知症看護におけるFORMAL CAREGIVER BURDENの精神的負担
－介護保険施設看護師を対象とした実態調査と精神的負担の関連要因－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、奨励金をいただきまして誠にありがとうございました。様々な事情で、研究活動はますます遂行が難しくなっている状況がありますが、金銭面での潤沢な支援をいただき、その点で心配することなく、研究活動に打ち込むことができました。

今回の研究で、認知症ケアを行う人々がもつ精神的負担を少しでも緩和して、心理的な安全性や、認知症ケアへの充実感や満足感を持ってもらうための準備研究として貴重な資料を得ることができました。それにより認知症の人が介護施設で充実した生活を送るために、わずかでも貢献できていればと考えています。

研究を重ねていくごとに、研究の手法について学びを深めることができ、本来明らかにしたいところに焦点化ができるようになってくると感じました。奨励金を授与し、貴重な研究の機会をいただけたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

ヤジマ　カズミ
谷島　和美

関東学院大学 看護学部　助教



〔研究課題〕

発達障害特性を有する看護師の職務適応に向けた支援

－文献検討と先行研究によるベストプラクティスの実行可能性と課題－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究の実施にあたり、多大なるご支援を賜りましたことに、心よりお礼を申し上げます。皆様からのご支援のおかげで、着実に研究を進めることができ、今後の研究につながる一定の成果を得られたものと考えております。本研究で得られた結果をもとに、今後の研究のみならず、看護師の職務適応に向けた支援につなげ、広く社会に還元してまいりたいと思います。改めまして、ご支援に深く感謝申し上げます。

カミムカイ　ミサ
上向井　美佐

新潟食料農業大学 食料産業学科 アグリコース　助教



〔研究課題〕

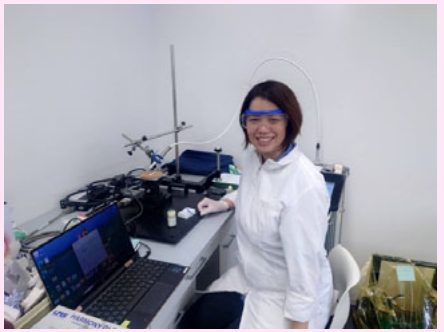
コシヒカリの同質遺伝子系統ヒカリッコの高温登熟障害に関する研究
－早生・短稈品種ヒカリッコは高温登熟障害を回避・低減できるか？－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究にご支援を賜り、おかげさまで、本研究の進展を果たすことができました。今後も本研究を発展させて、実用品種、ヒカリッコBLまで漕ぎ着けたいと存じておりますので、ご支援を賜れば幸甚に存じます。

オダギリ　ユカリ
小田切　ゆかり

愛知学院大学 歯学部　助教



〔研究課題〕

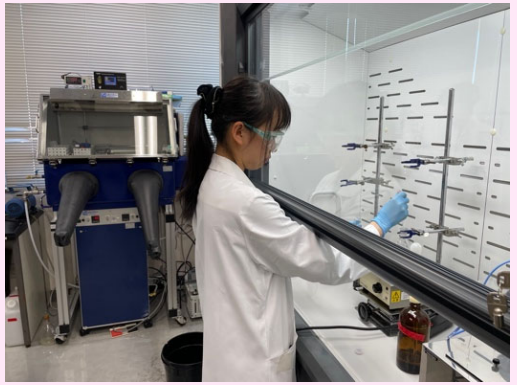
CO2レーザーと亜鉛含有ガラスを用いた根面象牙質強化法の開発

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究の遂行にあたり、多大なるご支援を賜りました助成事業関係者の皆様、ならびに寄付を通じて研究活動を支えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。社会情勢が不安定な状況下においても、研究に必要な試薬・材料等を整備することができ、本研究を継続・遂行する上で大きな支えとなりました。ご支援いただいた研究助成は、本研究の遂行のみならず、将来的な新規予防法の確立へ向けた基盤形成にも大きく寄与するものであり、ここに厚く御礼申し上げます。

サカモト　キョウカ
坂本　京花

愛知学院大学 薬学部　助教



〔研究課題〕

短波赤外線利活用分子の創出とセラノスティクスへの応用

寄付者の皆様へ〔御礼〕

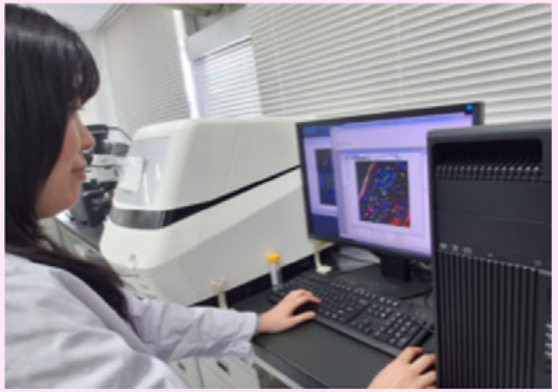
この度は、女性研究者奨励金に採択いただき誠にありがとうございました。本研究に多大なるご支援を賜りました企業様、日本私立学校振興・共済事業団関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。助教として研究に従事し始めたばかりの私にとって、本奨励金に採択いただいたことは大きな自信になり、より一層研究活動に取り組むモチベーションとなりました。また、本研究に欠かせない実験器具もそろえることができ、充実した環境の中で研究活動を推進することが叶いました。

ご支援により得られた知見を社会に還元するべく、今後も研究活動に邁進してまいります。より一層精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

ハギワラ　レイコ

萩原　玲子

藤田医科大学 腫瘍医学研究センター　博士研究員



〔研究課題〕

軟骨線維化を制御するマスター因子の解明

－その制御に基づく治療戦略の構築－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は女性研究者奨励金に採択していただき、心より感謝申し上げます。ご支援のおかげで、新たな試薬の購入や学会参加が可能となり、研究を大きく進展させることができました。その結果、非常に有意義な実験成果を得ることができたと考えております。また、本奨励金によるご支援を受けたことで、新たな研究費獲得への挑戦にもつながりました。今後は、本研究課題で得られた成果をさらに発展させ、社会へ還元できるよう、より一層研究に励んでまいります。

ミヤザキ　アンナ
宮崎　杏奈

大阪医科薬科大学 薬学部　助教



〔研究課題〕

STAT3を標的とする分子イメージングプローブの創製研究

－診断と治療を一体化するがん治療セラノスティクスへの可能性－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

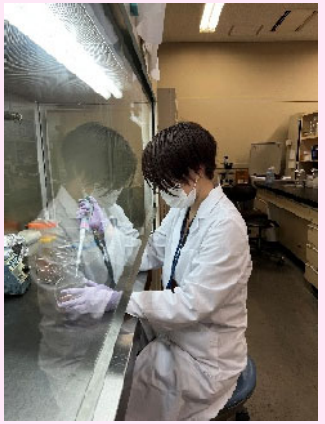
この度は、本奨励寄付金に採択いただき、誠にありがとうございました。贈呈式では、企業の皆様やご関係者の方々、ならびに日本私立学校振興・共済事業団の皆様の温かい思いや期待を直接感じ、大変胸が熱くなったことを覚えております。

本研究では放射性核種や動物実験等など、高額なものや慎重に検討を重ねる実験も多く、ご支援により研究活動を大きく前進させることができました。また何より、本研究に関心を寄せていただいたことは大きな励みとなり、研究者として改めて身の引き締まる思いでおります。現在取り組んでいる分子イメージングプローブの開発は、がんの状態を可視化し、患者ごとに異なる治療効果をより正確に評価するための新しい診断技術につながる可能性があります。また将来的には、診断と治療を一体化するセラノスティクスとして、がん治療の新たな選択肢を生み出しうるものです。

いただいたご支援に応えるべく、研究者として社会に貢献できる成果を生み出せるよう、今後も励んでまいりたいと思います。

キタ　アヤミ
喜多　絢海

摂南大学 薬学部　助教



〔研究課題〕

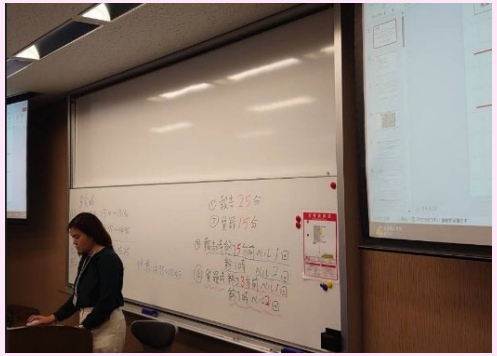
脳梗塞後遺症治療に向けた反応性アストロサイトの誘導機構の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究は、脳梗塞後遺症の新たな治療法の開発を目指し、アストロサイトの性質変化を制御するタンパク質間相互作用に着目して進めてまいりました。STAT3-MYOSIN9相互作用の変化が、病態形成に重要な役割を果たす可能性を示すことができたのは、日本私立学校振興・共済事業団の皆様および関係者の皆様からの温かいご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。脳梗塞後遺症は、患者様ご本人だけでなく、ご家族や社会全体にも大きな影響を及ぼす疾患です。本研究で得られた知見をさらに発展させることで、病態の理解を深め、新たな治療戦略の創出につなげたいと考えています。今後も基礎研究を通じて、社会に還元できる成果を生み出せるよう努めてまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

トウマ　ミズヨ
當眞　瑞代

大手前大学 経営学部　助教



〔研究課題〕

和菓子製造小売業の流通

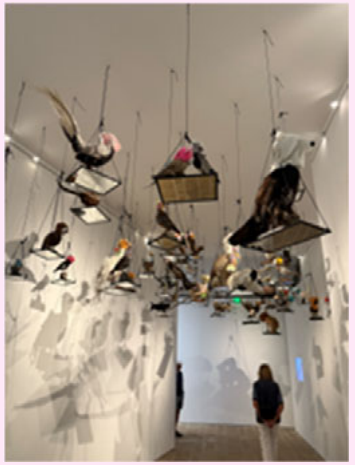
－1960年代～1990年頃までを対象に－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究に際し、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。私が研究を始めたのは40代半ばを超えており、制限のない本奨励金は、大変心強く、研究活動に集中することができました。また、私の研究は、学際的なことから、研究として、研究者として、独立できるか不安がありましたが、本奨励金を採択いただけたことで、金銭的なご支援だけでなく、精神的にも後押しいただき、自信をもって研究活動に臨むことができました。非常に心強いご支援をありがとうございました。この経験を励みに、研究の発展に全力を尽くしていきたいと思っております。

ミヤワキ　エリ
宮脇　永吏

桃山学院大学 国際教養学部　講師



〔研究課題〕

動物と人間の共生を語り直すナラティヴ
－ジャン＝クリストフ・バイイとジル・アイヨーを中心に－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この場を借りて支援者の皆様に一番にお伝えしたいことは、新しい研究に挑戦するためには、情熱はもちろんのこと、時間と資金が必要であるということです。私自身、これまで長期間にわたって特定の作家を軸にした狭義のヨーロッパ文学の研究をしてきました。その中で重要性を増してきた「人間と動物」というテーマ系へと大きく舵を切り、現代の環境問題とも密接に関わる内容に踏み込むためには、全く専門の範囲を超えた、しかしとても興味深い自然科学や哲学思想について多くの勉強が必要でした。今もなおその勉強の途上にあり、これから研究成果を公表していく間にも続いていくことになります。しかしそれは、とてつもなくワクワクする勉強であり、研究者にとってこれほど楽しい時間はありません。私自身に限って言えば、新しい魂を吹き込まれたといっても過言ではないでしょう。今回、この大きな転換のチャンスをいただいたことについて、心から謝意を申し上げます。

2年連続で「女性研究者奨励金」に採択されたことは、自分の研究テーマの方向性と可能性を模索し、射程を大きく広げることに繋がりました。実社会ともっと直接に関わるような研究をしたい、今生きている感覚と自分の研究とを繋げたいと思い続けていたにも関わらず、なかなか実現できずにいた自分の背中を押していただいたように思います。私のように出産・育児等を経て、生活や身体的な激動の変化を経験する中で、研究ブランクが生じたり、新しいテーマに挑戦したいと視点が変わる女性研究者も多くあると思います。こうしたご支援のおかげで、迷いなく一歩を踏み出し、さらに研究を発展させていく機会になるということを、皆様に知っていただけたら幸甚です。

スナミ　アイコ
砂見　愛子

神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科　講師



〔研究課題〕

セルピンはデュシェンヌ型筋ジストロフィーの新規バイオマー

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、女性研究者奨励金による温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本研究を通じて、デュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）の病態解明に向けた新たな知見を得ることができました。研究結果は当初の仮説とは異なるものでしたが、新たな研究課題や病態理解につながる重要な発見を得ることができ、今後の研究の発展に向けた大きな一歩となりました。

私は20年間、臨床検査技師として医療現場で患者様と向き合ってきました。その経験を活かし、現在は大学教員として教育と研究の両立に取り組んでいます。本助成は、研究活動を継続しながら新たな挑戦を続ける大きな支えとなりました。特に、家庭と仕事を両立しながら研究に取り組む女性研究者にとって、このような支援は研究を継続するための大きな励みとなります。

今後もDMD研究を継続し、研究成果を患者様やそのご家族へ還元するとともに、臨床経験と研究を融合させた独自の視点から医療の発展に貢献してまいります。また、教育者として次世代の医療人や研究者の育成にも尽力し、女性研究者や臨床検査技師を目指す若い世代のロールモデルとなれるよう努力を重ねてまいります。

皆様からいただいたご支援に深く感謝するとともに、研究成果という形で社会へ還元できるよう、今後も精進してまいります。

ハヤシベ　ユカ

林部　由香

岡山商科大学 経営学部 経営学科　助教

〔研究課題〕

高度基幹化非正社員が知覚する心理的契約



寄付者の皆様へ〔御礼〕

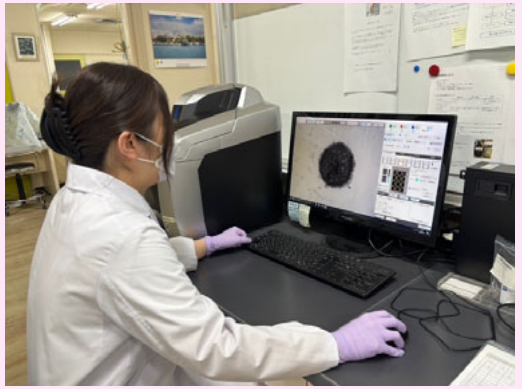
このたびは研究活動をご支援いただき、心より感謝申し上げます。皆様からいただいたご支援のおかげで、本研究を進めることができ、その成果を博士論文としてまとめることができました。

私は研究活動を行う中で、研究にはどのような社会的意義があるのかを常に考えています。研究の成果はすぐに目に見える形で現れるものではなく、その価値が社会に届くまでには長い時間がかかることもあります。しかし、人々が当たり前だと思っている社会の仕組みや働き方を問い直し、これまで十分に語られてこなかった人々の経験や思いを明らかにすることには、大きな意義があると考えています。本研究では、職場を支える重要な存在でありながら、心理的な側面についての理解が限定的であった基幹化非正社員の人々に焦点を当てました。

皆様からいただいたご支援を励みに、今後も研究に真摯に取り組み、その成果を社会へ還元してまいります。そして、一人でも多くの人がよりよく働き、生きることのできる社会の実現に微力ながら貢献していきたいと考えています。改めまして、このたびのご支援に心より御礼申し上げます。

イノウエ　ミキ
井上　実紀

久留米大学 医学部 解剖学講座　助教



〔研究課題〕

卵胞発育におけるMINI-PUBERTYの生理的意義の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

このたびは、本研究に対し温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本助成金の支援のおかげで、出生直後に一時的に活性化されるホルモン分泌機構「MINI-PUBERTY」が、卵巣の正常な発達に重要な役割を果たしていることを明らかにすることができました。これらの成果は、これまで十分に解明されていなかった女性におけるMINI-PUBERTYの役割の一端を明らかにするものであり、生殖機能の発達や不妊症などの生殖関連疾患の理解につながる基礎的な知見として期待されます。

また、本研究を基盤として発展させた卵巣研究の成果は、昨年度の日本解剖学会総会・全国学術集会において発表され、学部学生・専門学校生セッション優秀ポスター賞を受賞することができました。

改めまして、皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。今後も研究活動に一層精進し、生殖機能の発達機構の解明を通じて社会に貢献できる成果の創出に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

スズキ　モエコ
鈴木　萌子

日本薬科大学 薬学部　助教



〔研究課題〕

血液がん患者におけるバンコマイシン投与設計支援システムの構築
－臨床応用を目指して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

2025年の1年間は、母校で大学教員として2年目を迎え、博士課程大学院2年生として研究・論文執筆を進めながら、3歳の息子を育てる母としての役割も担い、日々多くの挑戦と向き合いました。こうして教育・研究・育児のすべてを継続し、成長の機会へとつなげることができたのは、本奨励金による皆さまからの温かいご支援があったからこそです。心より御礼申し上げます。

本奨励金により、研究時間の確保や学会発表の機会が大きく広がり、研究者として一段階ステップアップすることができました。特に、これまで取り組んできた研究テーマを深化させることができ、今後の研究展開につながる貴重な成果を得ることができました。

今回の研究は、将来的に臨床および教育現場に還元できる可能性を秘めています。いただいたご支援を、未来の学生や社会に価値として返していけるよう、今後も研究・教育の両面で誠実に取り組んでまいります。

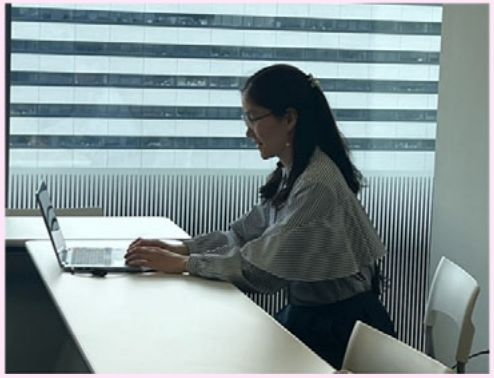
仕事・研究・育児の両立を支えてくれた家族にも、この場を借りて深く感謝申し上げます。

そして何より、私の挑戦を後押ししてくださった寄付者の皆さまに、改めて心より御礼申し上げます。

皆さまのご支援が、次の研究成果と社会への貢献につながるよう、今後も一歩ずつ前進してまいります。

リュウ　サ
劉　莎

福岡工業大学 教養力育成センター　助教



〔研究課題〕

日本語を話す2L1バイリンガルのスピーチ・プロダクション
－異なる言語間の相互作用とバイリンガル言語発達に関する研究－

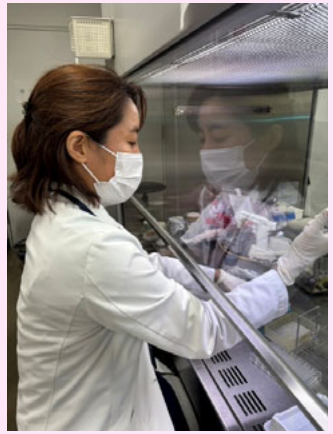
寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究は、二つの第一言語を持つバイリンガルの音声発達の仕組みを明らかにすることを目的としています。近年、多言語環境で育つ子どもや生活する人々は増加しており、言語の違いを越えた円滑なコミュニケーションの重要性が高まっています。本研究の成果は、こうした社会における相互理解の促進や、言語教育の発展に貢献することが期待されます。

本研究の実施にあたり、ご支援いただいている皆様に心より感謝申し上げます。今後も基礎研究を通じて、多様な言語背景を持つ人々が共存できる社会の実現に寄与していきたいと考えております。

スミカワ　マイコ
隅川　舞子

産業医科大学 第1内科学講座　助教



〔研究課題〕

2型糖尿病患者CD8陽性T細胞の免疫老化の機序解明と治療応用

寄付者の皆様へ〔御礼〕

2型糖尿病は慢性的な炎症が持続することにより、心血管疾患や腎症など様々な合併症を引き起こすことが知られています。しかし、その炎症の機序については、十分には解明されていません。

本研究では、免疫細胞の「代謝」という新たな視点から慢性炎症のメカニズムを明らかにし、CD8陽性T細胞を標的とした新しい治療法の開発につなげることを目指しています。

皆様からいただいたご支援は、糖尿病や糖尿病合併症の病態解明と新たな治療戦略の創出に向けた研究を大きく前進させ、多くの患者さんの健康と未来に貢献する力となると考えます。研究成果を社会へ還元できるよう、誠実に研究に取り組んでまいります。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

イケゾエ　タカコ
池添　貴子

福岡国際医療福祉大学 看護学部 看護学科　助教



〔研究課題〕

高齢化進む日本の働き世代における認知症介護の肯定感情の検討

－就労女性介護者へのソーシャルサポートが介護肯定感に与える影響－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、女性研究者奨励金に採択していただき誠にありがとうございました。また、本研究に多大なるご支援を賜りました日本私立学校振興・共済事業団の皆様および関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本奨励金に応募したきっかけは、「病と共に自宅で生活する・住み慣れた地域で暮らす事」に関心を抱いた事です。今回の研究で着目した就労介護者は、家庭以外での社会的役割も担っており、気力・体力など多方面からの支援が必要だと考えています。被介護者も介護者もその家族も、皆が明るく前向きな気持ちで尊厳ある暮らしを送るには、どのような視点が必要であるか、本調査を通じて新たな見解への繋がりを期待しています。

本研究課題への採択通知を頂いた時は心が沸き立つような感動を覚え、研究者の一人として関心を持っていただけた気持ちになり、資金面のみでなく今後の研究活動への大きな励みになりました。本奨励金の受贈を機に、研究結果をより多くの方々に還元できる日が迎えられるように一層気を引き締めて研究の発展に精進してまいりたいと存じます。今後ともご支援ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。